

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和3年度事業点検・評価調書

4-V-5

4-V-5

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	エコツーリズムの啓発
節	V.来訪者マナーの醸成	事業主体	佐渡市観光振興課
事業(施策)名	5 エコツーリズム普及啓発	関連団体	県観光企画課、新潟市観光振興課、長岡市観光企画課、上越市観光交流推進課、県観光協会、佐渡観光交流機構、佐渡トレッキング協議会
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然環境や歴史文化など地域固有の魅力を来訪者に伝えて、その価値や保全の大切さについて理解促進を図る。</li> </ul> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ホームページや各種リーフレットのほか、旅行代理店等への働きかけによってエコツーリズムの普及を図る。</li> </ul> <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界遺産登録後、来訪者が増加しても地域への観光負荷を最小限に抑え、共存できる状態</li> </ul>		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 佐渡エンジョイプランを実施した。</li> <li>○ 佐渡の自然を満喫してもらうため、佐渡観光交流機構やトレッキング協議会と連携し、最新情報の発信を行った。</li> </ul>		
事業計画と実績	<p>【R3年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 佐渡エンジョイプラン及び夏季限定の体験プラン「サドベンチャー」で自然と触れ合う体験メニューを設定し、佐渡の環境についての啓発を行う。</li> <li>● 観光パンフレット「佐渡さんぼ」の中で自然体験及び歴史文化ページを設ける。</li> </ul> <p>【R3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● エンジョイプランでもカヤックプランなど新たに自然体験のコンテンツを充実させたほか、夏季はサドベンチャーを実施して環境啓発につなげた。</li> <li>● 今年度作成した「佐渡さんぼ」の中では、コロナ禍のニーズに合わせて自然体験のページを拡充した。</li> </ul>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 今後佐渡金銀山が世界遺産登録された場合、来訪者が急激に増加しいよいよオーバーツーリズムによる観光負荷が懸念される。佐渡の自然や文化は離島だからこそ保護されてきたものでもあるので、来訪者に共感してもらい保護するような啓発が必要。</li> </ul> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ SDGsに配慮した体験コンテンツの造成により、引き続き来訪者に佐渡の環境について考えてもらう機会を作る。</li> </ul>		
事業評価	<p>【ゴールに対するR3末の達成度】 ◇ 概ね計画どおりに事業実施できているためBとした。</p> <p>[ A・(B)・C ]</p>		

A: 予定を上回る進捗  
B: 概ね予定どおり  
C: 遅れている。

